

令和5年

冬の交通事故防止運動

実施要綱

実施期間 12月11日（月）～12月20日（水）

スローガン 「冬道は心の余裕と車間距離」



目的

この運動は、年末が近づくと、人や車の動きが慌ただしくなるとともに、冬型の気候や飲酒機会の増加等により、交通事故の多発が懸念されることから、県民一人一人に交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣付けることにより、交通事故防止を図ることを目的とします。

運動の重点

- ①横断歩行者等の交通事故防止
～渡るよサインの活用～
- ②飲酒運転の根絶
- ③冬道の安全走行



運動の進め方

県、市町村及び関係機関・団体は、相互に連携を密にして、それぞれの実情に即した具体的な実施計画を策定するとともに、積極的な広報・啓発活動を行い、県民の交通安全意識の高揚が図られるよう、実効的な運動を展開しましょう。

公益財団法人 柏崎地区交通安全協会

重点① 横断歩行者等の交通事故防止 ～渡るよサインの活用～

ドライバーの皆さん！横断歩道は「歩行者優先」です

- ◎ 横断歩行者等の保護は、ドライバーの義務です。

横断しようとする歩行者、または横断中の歩行者の横断を妨害する行為は道路交通法違反です。

～横断歩行者等妨害等違反の罰則関係～

罰則	3月以下の懲役又は 5万円以下の罰金
違反点	2点
反則金	大型車：12,000円 普通車：9,000円 二輪車：7,000円 原付：6,000円

- ◎ 横断歩道は「歩行者優先」であり、横断歩行者の保護はドライバーの責任となっています。横断歩道に歩行者がいないことが明らかな場合を除き、横断歩道の直前で停止できる速度で走行しなければいけません。交差点を通過する際は歩行者の有無を確認し、横断者がいる場合や横断しようとしている人がいる場合には必ず止まりましょう。
- ◎ 年末に向けて夕暮れが早まり、17時台に最も歩行者事故が多発します。前照灯は日没前から、天候に応じて早めの点灯を心掛け、自分の車の存在を周囲にアピールしましょう。また、前照灯の上向き、下向きをこまめに切り替え、いち早く歩行者を発見できるようにしましょう。

歩行者の皆さん！横断時は「渡るよサイン」

- ◎ 12月は1年で最も多く歩行者事故が発生します。本年10月末現在、新潟県内の交通事故死者数45人（前年比-3人）のうち、当事者別（車、バイク、自転車、歩行者）では歩行者が17人（前年比+6人）と最も多く、昨年と比較して大きく増加しています。
- ◎ 夜間、悪天候時は、ドライバーから歩行者が見えづらく、見落とされる可能性があります。

歩行者は、道路を横断しようとするときは、手をあげる、顔や体をドライバーに向けるなどしてドライバーに横断する意思「渡るよサイン」を明確に伝え、車が停止したことを確認してから渡りましょう。また横断歩道が近くにある場所では、横断歩道を渡りましょう。



歩行者の皆さん！夜光反射材の着用

- ◎ 夜間の交通事故防止には、夜光反射材や明るい色の服装が効果的です。徒歩で外出する際は、自分の身を守るために、明るい服装や夜光反射材を身に付けて、自分の存在を周囲に知らせましょう。

■ 夜間、車から歩行者が見える距離（視認距離は実験により異なる場合があります）



重点② 飲酒運転の根絶

飲酒運転は絶対にしない！させない！

- ◎ 本年10月末現在、新潟県内では交通事故27件（前年比±0人）発生と、昨年同様、飲酒運転による悲惨な交通事故が後を絶ちません。

飲酒運転は極めて悪質・危険な犯罪です！

- ◎ 国民の皆さん一人一人が「飲酒運転を絶対にしない、させない」という強い意思を持ち、飲酒運転を根絶しましょう。

飲酒運転はなぜ危険か？

- ◎ アルコールは「少量」でも脳の機能を麻痺させます！
アルコールには麻痺作用があり、**視力の低下や感覚を抑制するなど、脳の動きを麻痺させます。**
- ◎ 飲酒時には、安全運転に必要な注意力や判断力等が低下している状態となり、具体的には、「気が大きくなり危険な運転をする」、「車間距離の判断を誤る」等、飲酒運転は交通事故に結びつく危険性を高めます。
- ◎ 酒に弱いと言われる人だけでなく、酒に強いと言われる人でも、低濃度のアルコールで運転操作等に影響を及ぼすことが各種研究により明らかになっていますので、飲酒したら絶対に車両等を運転してはいけません！

～飲酒運転による交通事故発生状況～

	R2	R3	R4	R5.10月末
発生件数	43	38	35	27(前年同期比±0)
死者数	4	3	3	0(前年同期比-3)
負傷者数	59	47	40	35(前年同期比+5)



重点③ 冬道の安全走行

冬道の危険性を理解！

【冬道ドライブのポイント】

1. 運転前に必ず行うこと

車に積もった雪を落とす、窓ガラスの曇りをとるなど、しっかりと視界を確保してから出発しましょう。

2. 路面状況に応じた安全な速度で運転すること

制限速度にかかわらず、路面状況に応じた安全な速度で走行しましょう。

3. 車両距離を十分確保し、早めのブレーキで優しく操作

スリップ事故の多くは停止中前車への追突ですので、車間距離はいつもより長めにとりましょう。

4. 「急」のつく運転をしない

スリップの原因となる急アクセル、急ブレーキ、急ハンドルはやめましょう。



- ◎ 自転車の利用は控えましょう！

冬季の自転車利用は、**積雪や凍結による転倒事故の危険**などが高まりますので、**利用を控えましょう。**



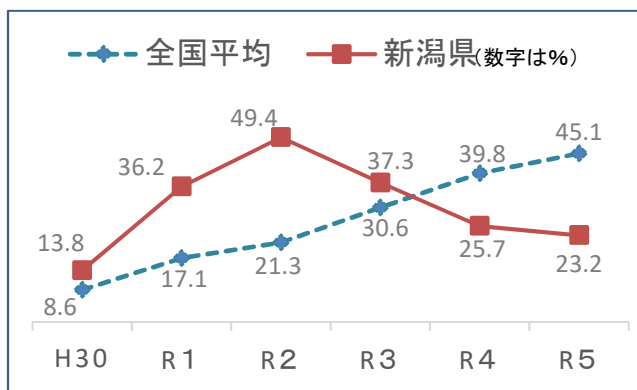
止まらない新潟県!

横断歩道一時停止率 23.2% 全国ワースト1位

横断歩道は
「歩行者優先」

信号機のない横断歩道を歩行者が渡ろうとしている場合における車の一時停止率の調査結果が公表されました。その結果、全国平均は45.1%と昨年より5.3ポイント増加しましたが、新潟県は23.2%と昨年より2.5ポイント減少し、全国ワースト1位になりました。

ドライバーの皆さん、歩行者に優しい運転に努めて、住んでよし、訪れてよしの新潟県を!



春に向けて自転車ヘルメットの準備を!

警察庁が都道府県ごとに着用率を調べたところ、最も高い県で約60%近くに達した一方、新潟県は約2%あまりと**全国ワースト1**という結果でした。

警察庁資料(平成30年から令和4年合計)によると、ヘルメット非着用で自転車事故により亡くなった人の**約6割は頭部に致命傷**を負っていること、また、ヘルメット非着用時の致死率は、着用時と比べて**約2.1倍も高くなっている**ことから、自転車事故による被害を軽減するためには、ヘルメットの着用により頭部を守ることが大変重要です。

自分の身を守るため、春に向けて、ヘルメットの準備をしましょう。



「ハンドルキーパー運動」

「ハンドルキーパー運動」とは、自動車仲間と飲食店などへ行く場合に、お酒を飲まない人(ハンドルキーパー)を決め、その人が仲間を自宅まで送り届ける運動です。

ハンドルキーパー



冬の交通事故防止運動～主な活動内容～

1. 飲酒運転根絶のための飲食店訪問
2. 各広報誌及び「交通安全だより」による周知
3. ポスターの掲示・飲酒運転防止ちらし配布(関係機関)
4. 優良・優秀運転者表彰申請受付(各地区・事業所)
5. 街頭指導
6. ホームページによる広報